

## Sumitomo Foundation News Vol.12

### 本能としての利他行動

先日、何気なく目にしたテレビ番組に目を奪われました。まだ一歳にもならない赤ちゃん同士がおもちゃの取り合いをします。取り合いに勝った赤ちゃんはいったんは満足気にそのおもちゃで遊ぼうとするのですが、負けて泣いている相手に気づくと、その勝ち取ったおもちゃを渡してあげるのです。

これは、「分配行動」と呼ばれるもので、二歳に満たない幼児で観察されているそうです。他人の利益のために動くことは「利他行動」と呼ばれますが、行動生態学では結果的に双方に利益を得ることが生じる場合、「互惠的利他行動」と呼ばれます。負けた方の赤ちゃんは得られなかったおもちゃを得られるのですから明らかに利益を得ています。一方で、勝った方の赤ちゃんの利益は何なのでしょう。何しろ相手は赤ちゃんですので、本人に聞くこともできません。相手に渡してあげることで優越感を感じることができる、相手が泣き止めば自分にもプラスになる、どれもじっくりこないような気がします。

いやいや、赤ちゃんがそこまで考えて行動しているわけではなく、その行動は人間としての本能だ、という説もあるようです。生き延びていくためには集団生活をする必要があります、進化の過程で他人を助けることを本能として獲得した人類が、現在まで生き延びている、というものです。

企業活動においてもサステナブルな行動が重要視される昨今ですが、利他行動が人間としての本能だとすれば、それと同じように、長く続いている企業ほど、何かしらの社会還元を意図せずとも続けているものなのかもしれません。

住友財団は、住友の事業精神である「自利利他公私一如」を基に創設されました。社会のニーズをしっかりと捉えた上で、助成先にとって本当に役に立つ支援が行えるような財団であり続けたいと思います。（日野）

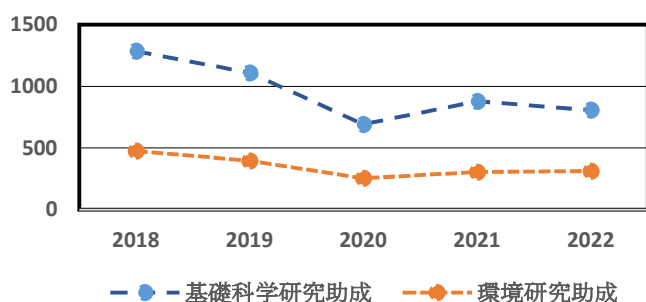
### 主な活動内容（2022年4月～6月）

4月	2022年度 基礎科学研究・環境研究 募集（6月末まで）
5月	第55回理事会
6月	第14回評議員会／第56回理事会／第57回理事会



## 2022年度基礎科学研究助成・ 環境研究助成応募状況

応募数の推移



2022年度の基礎科学・環境研究分野の助成募集を4月15日から6月末まで行いました。

今年度の応募件数は、基礎科学研究助成が808件（前年比72件減少）、環境研究助成が314件（同8件増加）と、全体としては微減となりました。

なお、今年度からオンライン申請へ変更し、応募者の利便性の向上を図りました。住友財団は、助成を希望する研究者に、より応募しやすい環境を提供し、良い研究を支援して参りたいと思います。

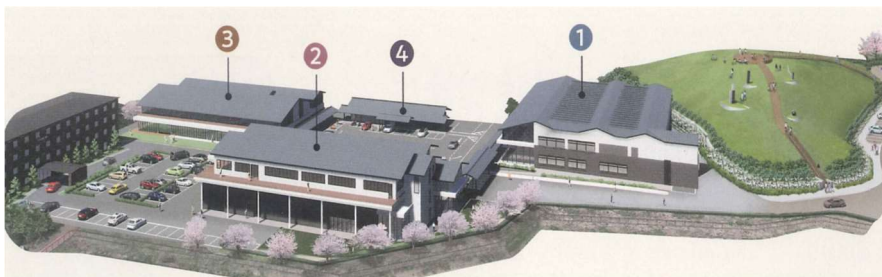
## 国内文化財維持・修復事業助成 「なら歴史芸術文化村」の紹介

国内文化財維持・修復事業助成の役割は、貴重な文化財が修復の必要な状態にありながら、資金的な問題から修復を進めることができない場合の支援にあることは言うまでもありません。ただ、それ以外にも、申請や完了時に提出いただいた、文化財やその修復に関わる映像を含めた資料を文化財修復の歴史を後世に残す貴重な資料として保存すること、また、修復を終えた文化財を公開していただくこと等を通じて、文化財ならびに文化財の修復への関心を高めていくことも大切な役割と考えています。

今年3月に奈良県天理市に「なら歴史芸術文化村」がオープンしました。国内で初めて文化財の修復工房を通年で公開するという取り組みを含め、文化財ならびに文化財の修復への関心を高めていくという視点からも興味深い施設です。5月に視察訪問してきましたので、今回はそのご紹介をいたします。

### 1. 施設の構成

4つの屋内施設と屋外体験ゾーンからなり、交流にぎわい棟は「道の駅」にもなっています。隣接してホテルもあり、「村」と呼ぶにふさわしい複合施設になっています。



①文化財修復・展示棟、②芸術文化体験棟、③交流にぎわい棟、④情報発信棟

### 2. 文化財・修復展示棟

修復工房が4区画設けられており、1階に建造物と考古遺物修復工房、地下1階に仏像等の彫刻と絵画・書跡等の修復工房があります。各工房では、実際に文化財の修理作業が行われており、ガラス越しではありますが、その様子を見ることができます（修理作業が見られるのは平日に限られます）。地下1階には、企画展示室・特別展示室もあり、奈良県の歴史・文化や文化財の修理をテーマにした展示、文化財に親しむことができる体験型の展示などが行われています。また、平日には「工房&展示解説ツアー」が開催され、ナビゲーターと対話しながら見学できるようになっています。



1階の建造物修復工房の様子

地域とのつながりを大切にしながら、文化財や芸術と身近にふれあい、体験できる場所として、たいへん魅力的な施設であると感じました。将来的に、住友財団が修復助成する文化財がこの工房で修復されることがあれば、文化財の修理の現場を多くの人に見てもらえることもでき、文化財ならびに文化財の修復への関心を高める機会が広がります。

## 「修復文化財展示支援」助成

2019年～2020年度助成の漢代漆器について、その修復完了を記念した展示会および講演会の開催についても助成を行いました。また、2020年度助成のセルビア修道院壁画の修復記念講演会に招かれ、住友財団の活動を紹介しました。住友財団は、修復事業の大切さを周知・啓発する活動についても積極的に支援・協力を行っております。

### 漢代漆器の修復完了記念展示および講演会

展示期間：2022年3月26日～5月15日

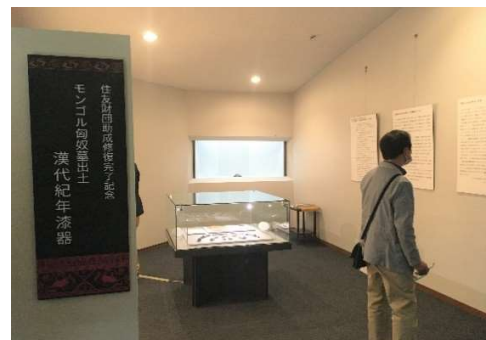
場所：泉屋博古館（京都）

展示品：耳杯（酒杯の一種）、旋（酒等を入れる器の受皿）

講演日：4月9日

講演者：大谷育恵氏（京都大）、岡田文男氏（京都芸術大）

展示品は、モンゴル高原の匈奴墓から出土した漆器2点で、その銘文から紀元前16年に製作されたことが判明しております。漢から匈奴に贈答されたものと考えられており、文化財としてだけでなく当時の外交関係を示す歴史的価値も高いものです。修復後の漆器は、右写真の通り、紀元前の製作とは思えないほど鮮やかな発色が蘇りました。講演会では、助成対象者である大谷氏から、ユーラシア大陸にまたがる農耕民族王朝と遊牧民族の対抗の歴史における匈奴研究の重要性と現況、岡田氏から、実際の修復の経緯が興味深く語られました。なお、展示費用等についても住友財団が助成しました。



博古館展示コーナー



漢代漆器（耳杯）



講演中の嶋田氏



修復後壁画（一部）

### ジュルジェヴィ・ストゥポヴィ修道院ドラグティン王礼拝堂壁画修復記念講演会

日時：2022年5月19日

場所：駐日セルビア共和国大使館（東京）

講演者：嶋田紗千氏（実践女子大）、鐸木(すずき)道剛氏（東北学院大）

主催：駐日セルビア共和国大使館(セルビア・日本友好140周年記念)

ジュルジェヴィ・ストゥポヴィ修道院は、セルビアの中世の首都ラスにあり、ユネスコの世界遺産に登録された「スタリ・ラスとソポチャニ」に位置しております。修復対象は、13世紀に建造されたドラグティン王礼拝堂の内部に描かれた中世の伝統的な壁画（フレスコ画）です。日本の研究者が住友財団の支援を受けて修復を行ったことで、本来の美しい姿が蘇ったことが、地元マスコミでも大きく報道されました。講演会では、鐸木氏から、セルビア文化の歴史的背景とその特徴について講話があり、助成対象者である嶋田氏から、ビデオおよびスライドにより修道院の歴史と文化的背景に加えて壁画の修復過程の詳細な説明が行われました。

## アジア諸国における日本関連研究助成 (ベトナム訪問)

コロナ禍により、アジア諸国における日本関連研究に関する各国への訪問は2020年、2021年には中止しておりましたが、感染状況の落ち着きもあり、今年3年振りに再開しました。

今回は、ベトナムのハノイ、ホーチミンの大学や研究機関、日本政府関連機関を訪問し、住友財団の活動及びアジア諸国における日本関連研究助成プログラムや、今年度の応募についての普及・広報活動を行うとともに、プログラムの今後の改善に向けた情報交換などを行いました。また、過去の助成対象者との面談を行い、研究成果の確認や、プログラムに対する意見などのヒアリングを行いました。

現在の住友財団のプログラムは応募しやすく、1件あたりの助成金額も手ごろで、日本関連研究の裾野を広げる取り組みとして非常に重要であり、特に若手にとって、貴重なプログラムであるとの声がありました。このようなプログラムに継続的に取り組んでいることに対し、高い評価を受けました。



ベトナム国家大学ハノイ 人文社会科学大学



ベトナム国家大学ホーチミン 人文社会科学大学

## 新評議員・役員の選任

6月2日に開催された第14回評議員会で、新任の評議員(5名)、理事(1名)、監事(1名)が選任されました。評議員は今回3名の増員で、日本総研の翁百合理事長、以前当財団で選考委員を務めていただいたこともある東京大学の塩見美喜子教授、ノーベル賞受賞者で京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥名誉所長の3名に新たに評議員となっておりました。また、監事には元あずさ監査法人理事長の佐藤正典先生に就任いただきました。

この結果、評議員25名、理事12名、監事3名の体制となりました。

### 【新評議員・役員】

- ◇評議員 翁 百合 日本総合研究所 理事長
- ◇評議員 塩見美喜子 東京大学 教授
- ◇評議員 下村 真司 住友重機械工業 社長
- ◇評議員 藤原 一彦 住友ベークライト 社長
- ◇評議員 山中 伸弥 京都大学 iPS細胞研究所 名誉所長／教授
- ◇理事 日野 孝俊 常勤 事務局長
- ◇監事 佐藤 正典 公認会計士 元あずさ監査法人理事長



第14回評議員会 住友会館にて